



松中だより

校訓: 自主・自律・自学

学校だより 第3号
令和6年5月30日

千葉市立松ヶ丘中学校

6月の声が聞こえ始め、蒸し暑い日が多くなってきました。こうした日が続くと、風を恋しく待ち、ほんのささやかな風にも喜びを感じることができます。そのような思いから、6月のことを「風待月（かぜまちづき）」と呼ぶことがあります。

今年の6月は、体育祭から始まります。さわやかな風を待ちながら、校章に込められた意味の一つ、Vital=はつらつとした全校生徒の姿を見られることを楽しみにしています。

体育祭に向けて

体育祭実行委員長 3年 Y.D.

私は今年の体育祭で全員が自分の力を出して、友達と笑い合ったり、競技を楽しんだりできるようにしたいです。そのためには、みんなの協力が必要不可欠です。私たち実行委員も、心に残る体育祭となるよう競技の計画をしています。ぜひ、当日は全力で楽しんでください。また、今年のスローガンの「To the Top ～個性で戦え！灯せ四色のヒカリ～」とあるように、各色全員で優勝団賞を目指し、協力して最高の忘れられない思い出を作りましょう。

2年 R.T.

2学年の団体種目は、「お邪魔玉入れ」です。普通の玉入れとは違い、高さ2.8mのかごに玉を投げ入れた数と、虫取り網で邪魔して取った敵の玉の数の合計を得点として競うゲームです。この競技の見どころは、玉を入れるテクニックと、円の内側に落ちた玉を円の外に出すサポート力、そして、敵が投げた玉を邪魔して阻止するガード力の3つの力が合わさって勝利をつかみ取るところです。

体育祭を通して、新たなクラスメイトと絆を深め、2年目の中学校生活をより良いものにしていきたいです。そのために、学年・全校で何度も練習を重ね、一人一人が個性を發揮し、自分たちの色のヒカリをともすことができるよう、本番に向けて頑張ります。

1年 K.S.

私は、体育祭が盛り上がるように応援団練習を頑張っています。難しい動きや声を出すところを、みんなどうすれば伝わるかを考えながら応援団の仲間と協力しています。

また、応援団として大きな声であいさつすることを意識するようになり、今では習慣になっています。体育祭本番では、応援も各競技の種目も練習の成果を生かし、思い出に残る体育祭にしたいです。

修学旅行での学び

修学旅行実行委員 K.O.

私は、今回の修学旅行を通して、さまざまな学びを得ることができました。また、クラスメイトの特徴もよくわかりました。



具体的には、伊達家の歴史について、ガイドの方のわかりやすい解説から学ぶことができました。この地を訪れた俳諧師の松尾芭蕉のお話も聞かせてもらいました。2日目では、気がつけば、13年も経つ大災害「東日本大震災」で残る傷跡をこの目で見て感じてきました。「百聞は一見にしかず」という言葉通り、今を生きる多くの人に見てほしいと思いました。

その他、さまざまところで協力し合う点が見られてうれしいです。わたしの実行委員として至らない点をカバーしてくれた友人がいて感謝しています。この学びを今後に生かすことが、修学旅行の真の成功だと私は考えます。

震災遺構である旧気仙沼向洋高校の3階にまで流されてきた自動車

2泊3日を振り返って

修学旅行実行委員 N.K.

長いようであっという間に過ぎた3日間。振り返ってみてどうでしたか。私は、何事も話し合っ、どうすればよくなるかを考えることで改善できることも学びました。食事係長としても責任の重さを実感しました。

1日目、狛鼻溪では崖の迫力に圧倒されました。また、久しぶりに食べたずんだもちはとてもおいしかったです。小雨が降っていましたが、2日目の松島での遊覧船も心に残っています。旅館で書いた絵葉書は、後日自宅に届きました。家族にもとても喜んでもらえました。

班別学習では、限られた時間の中で、予想していなかったことも多くありました。そんな時、協力しながら臨機応変に声をかけながら対応する大切さを痛感しました。修学旅行で改めて気が付いた大切なことを今後の学校生活でしっかりと活かしていきたいです。

松 中 俳 壇

夏草に香りなびくは夢見かな
初の旅菜の花揺れる東北へ
絵葉書で親に伝える新幹線
ハンカチをぬらすのは雨旅の日に
震災の被害を知って心揺れ

6月25日(火)は、第1期給食費(4月・5月分)と学校徴収金の一括口座振替日です。

納入額決定通知書(6月中旬配付)と学校徴収金のお知らせを確認のうえ、前日までに必要な金額を登録口座にご用意ください。引き落としができない場合は、7月16日(火)に再振替を行います。

(学校給食費に係るお問い合わせ 市保健体育課 電話 245-5909)